

繪本進入文本閱讀

教學者：語文領域輔導員
中林國小 楊秀如老師

暖身和動

1、說一說或表演

「拿」

「偷」

「搶」

「奪」

- 2、如果你有心愛的人或寵物被人「奪」走了，甚至被欺負、虐待以致於死，那時你的心情將如何？

- 你對**傷害者**的行為感到 …
- 你對自己**無能力解救**覺得…
- 你對**失去的人或物**感到…

故事名稱：馬頭琴（蒙古的民間故事）

- 說一說，對蒙古的印象是？
- 說一說，這個故事和什麼有關係？

馬頭琴(蒙古的樂器)

馬頭琴是蒙古族拉弦樂器，蒙語稱(莫林胡爾)、(潮爾)。

音色柔和圓潤，宜於演奏悠長遼闊的旋律，具有濃郁的民族風格。

馬頭琴琴桿細長，全長約124公分。

用紫檀或榆木製，音箱用松木製，呈梯形，兩面蒙馬皮、羊皮，(亦有前面蒙馬皮後面裝木板的)。

琴桿上端雕馬頭，兩軸張兩根馬尾製做的琴弦，用馬尾弓拉奏。

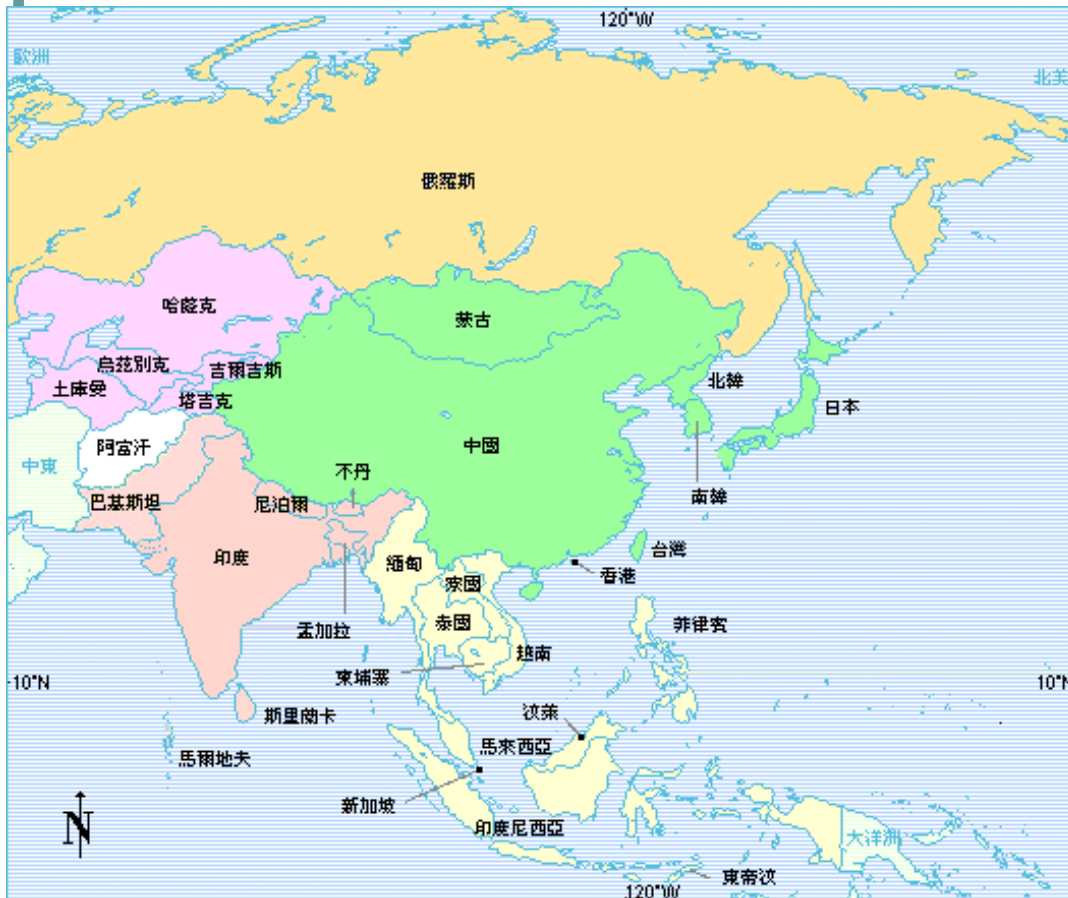
四度或五度定弦，另有反四度定弦，即外弦音低，內弦音高。音域約三個八度。

按弦法頗為獨特，食指和中指伸入弦下，用指甲頂弦，無名指用指間靠近小指一側按弦，小指用指尖頂弦。演奏時，採用坐姿，將琴夾於兩腿之間，琴

頭向左上方傾斜，左手按弦，右手持弓，弓在弦外運行。



蒙古



國家: 蒙古 (Mongolia) 面積 1,565,500平方公里

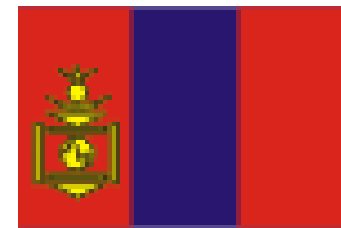
首都: 烏蘭巴托Ulanbatar)

氣候: 冬季長而嚴寒10月至翌年4月; 夏季溫暖, 日夜溫差極端, 降雨量集中於7、8月間

時差: 與台灣無時差

語言: 蒙語 (Khalkha Mongol)

貨幣: 塔格里克幣 (Tagrik)



成吉思汗 霸氣雄天征服世界之聲
台灣與蒙古 北緯 25 度東經 121 度 與 北緯 47 度東經 106 度 的音感交錯
高雄世界運動會 特獻

蒙古國家馬頭琴大樂團

「呼麥」、「長調」、「馬頭琴」人類世界遺產 台灣發聲

八百年前，成吉思汗率領軍家對偉蒙古武士，僅僅花了二十五年，就征服比四百年古羅馬帝國更多的人口更廣大的疆域，逐步建立起人類歷史上，版圖最宏大的蒙古帝國。他的一生從出身到經歷過的無數戰役乃至殞命，都被賦予神話，以致於其墓地成為數百年來，歷史學家與科學家心中最大的謎。

除卻戰爭之遺跡，成吉思汗所揚起的領土擴張作為，正是開發文化、經濟不同區域人民生活視野、演化之歷史重大關鍵時刻。而見證這人類文化大融合，並將蒙古文化傳播出去的，正是蒙古勇士們隨身的樂器——馬頭琴。

馬頭琴，是蒙古族辨識度最高的傳統樂器，也是聯合國所訂定的人類非物質世界遺產。它創造了蒙古獨特的音樂旋律，更表達出身為大草原子民及自翺為蒼狼後代的蒙古族，在心理、感官以及知識層面的哲學觀。它的音色輕緩柔和，又能動馬奔騰，與蒙古民族流動直率的性格相互呼應，而藉由馬頭琴，完整地展現了游牧民族的喜悅悲傷，及呈現大自然之美。

今次特邀請為電影「成吉思汗」專屬配樂樂團——「蒙古國家馬頭琴大樂團」為主，外加國寶級的「呼麥」、「長調」、「短調」、「民間舞蹈」藝術家合作演出；這是以馬頭琴為主體，加上如口弦琴、蒙古學、陶音琴等蒙古民族傳統樂器合奏樂團。本樂團將由蒙古奇人、開創現代與傳統結合的音樂民族英雄——姜素諾洛夫（前文化部長）領團訪台。首次訪台將是台灣與蒙古國文化交流之重要里程碑，該團為表誠意，特別將著名的〈梁祝〉協奏曲改編，讓觀眾一聽名曲由馬頭琴演奏的另一種風情。

演出時間/地點

2007/9/22(六) 高雄 音樂館戶外舞台 (自由入場)

主辦：The World Games 2009 Kaohsiung
高雄世界運動會

國立中正文化中心
http://www.ncs.culture.gov.tw

聯合主辦：新象文教基金會 台北市立國樂團

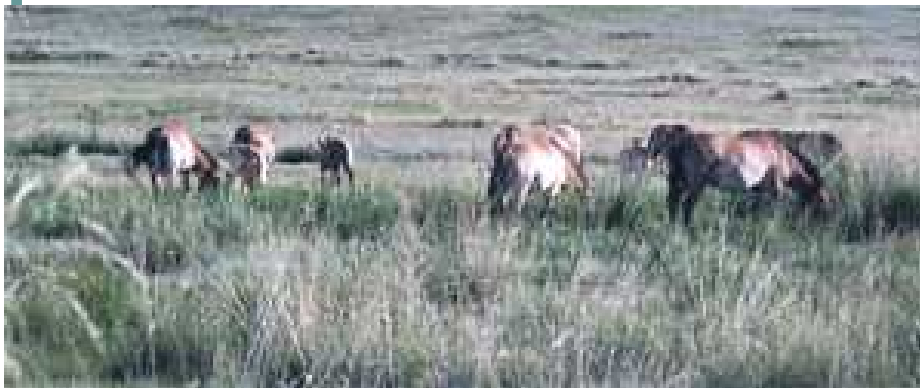
新象股份有限公司

協辦：烏蘭巴托貿易經濟代表處

洽詢：新象 02-2571-868



攝影：Han Chou

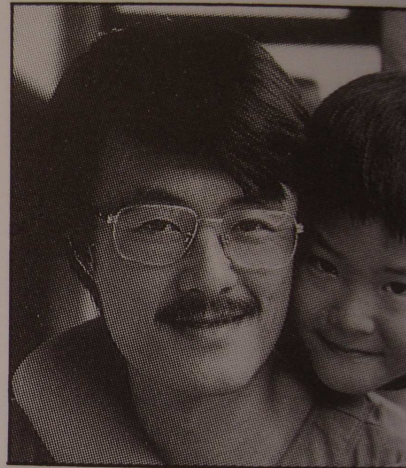


作者介紹 (文:莊展鵬 台大中文系畢業現任出版社編輯.總監)

莊 展 鵬

1954年生於台灣宜蘭，台灣大學夜間部中文系畢業。曾任戶外生活雜誌編輯、漢聲雜誌主編，現任遠流出版公司編輯研發總監。

作品曾獲聯合報短篇及中篇小說獎，著有《紅泥書簡》（皇冠）、《濫



故事介紹

- 《馬頭琴》所描述的，就是窮苦人家的小牧羊人蘇和，騎著他心愛的白馬去參加賽馬，雖然勇奪冠軍，但王爺蠻橫的搶走他的白馬。白馬思念主人，冒著生命危險逃回主人身邊，但逃走時身負重傷，終於不治死亡。

- 傷心的蘇和夢見白馬，白馬請蘇和用牠的骨骸、皮、筋和毛製造一把琴，這樣一來，白馬就可以隨時陪伴在他身邊。蘇和照著白馬的吩咐，創造了「馬頭琴」。因為琴聲優美，慢慢風行起來，成為蒙古地方的普遍樂器。

● 閱讀故事

- 專心的看，把不懂的地方畫下來。並體會故事情境感受書中的內容。

繪本介紹

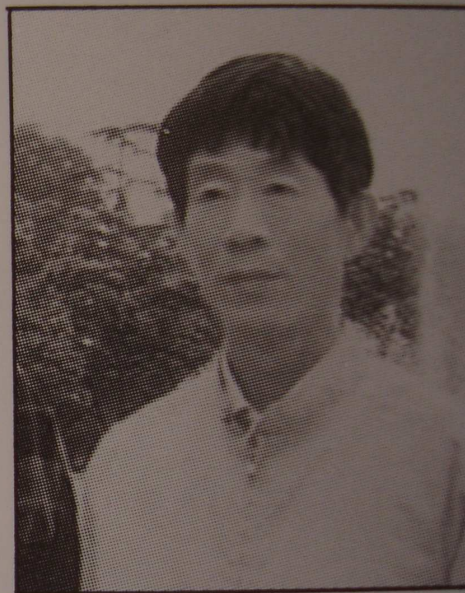
封面(包含書名.作者.出版社)



繪者介紹:奚阿興(上海少年兒童出版社美術總編輯)

阿 興

本名奚阿興，1944 年出生於上海。
現任上海少年兒童出版社美術編輯，大陸中國美術家協會會員。
作品多次參加各種國際畫展，1985 年並參加由日本聯合國教科文具組



蝴蝶頁

藏書票



書名頁

(包含書名.作者.出版社)



你見過蒙古的大草原嗎？
在廣闊的大草原上，天特別藍，草特別綠。騎著馬
慢慢走，像是在雲裡飄，又像是在船上搖，風一吹，
什麼煩惱也沒了。

聽，小牧童蘇和唱起歌來了。
他的聲音真響亮，沒有人不叫好。他騎馬的功夫真
厲害，誰都贏不了。天天趕著羊群來吃草，從來沒有一
隻會跑掉。

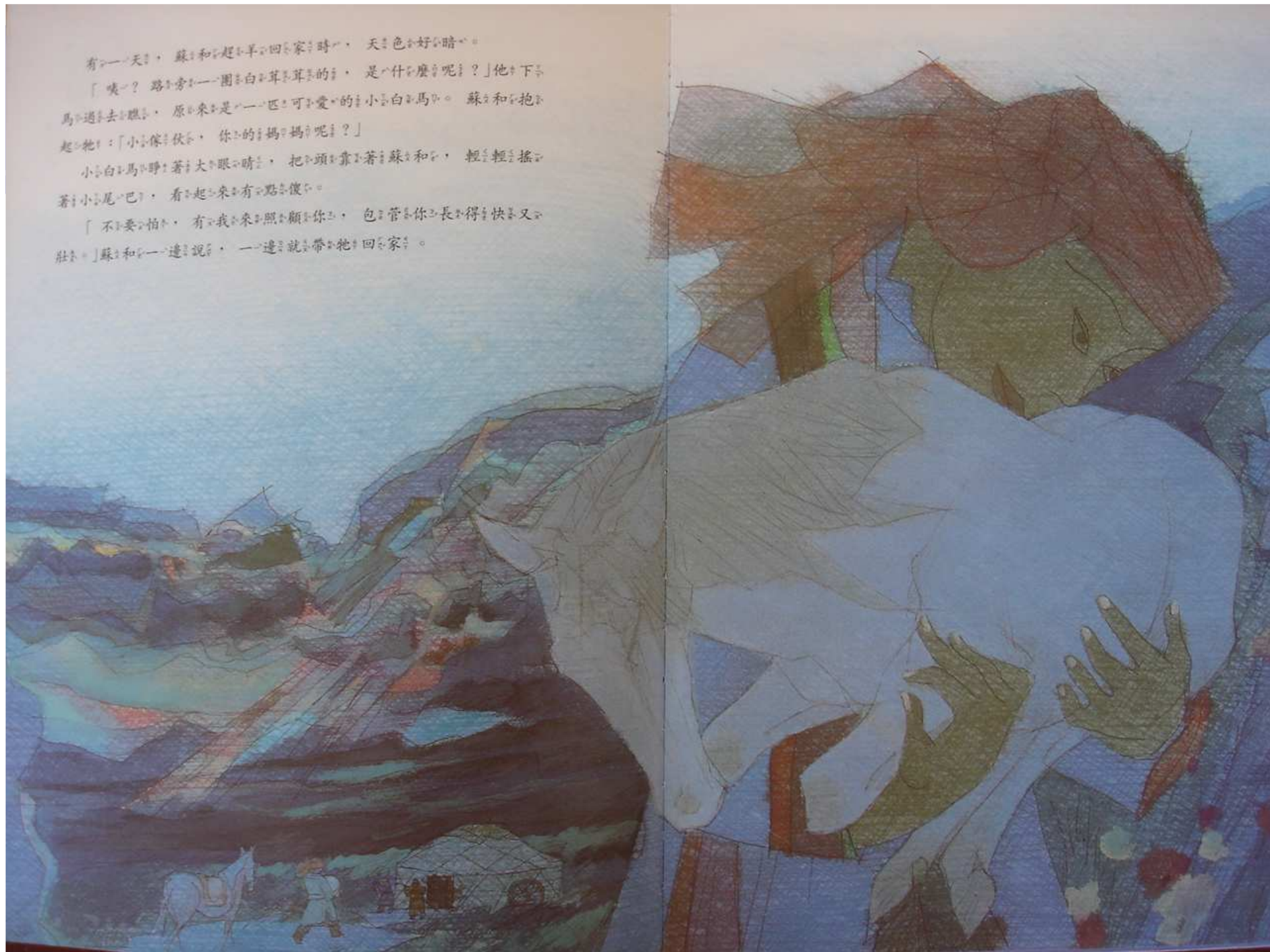


有一天，蘇和趕羊回家時，天色好暗。

「咦？路旁一團白茸茸的，是什麼呢？」他下馬過去瞧，原來是一匹可愛的小白馬。蘇和抱起牠：「小傢伙，你的媽媽呢？」

小白馬睜著大眼睛，把頭靠著蘇和，輕輕搖著小尾巴，看起來有點害羞。

「不要怕，有我來照顧你，包管你長得快又壯。」蘇和一邊說，一邊就帶牠回家。





小白馬真是好伙伴，天天跟著蘇和到處跑。
白天，他們一起到大草原去放羊。不管蘇和騎馬跑得多遠，小白馬也會搖搖擺擺的追到他身邊。

晚上，蘇和吹著笛子，小白馬跟著點頭又踏腳，有時候還昂頭嘶叫，逗得蘇和忍不住哈哈大笑。玩累了，小白馬就靠在他身旁，陪他一塊睡覺。

就這樣，小白馬一天天長大了。



晚上上的大草原，很冷很暗，有點可怕。

小心，黑影出現了！靜悄悄的，靠近熟睡的羊群。

唉呀，是可怕的野狼來了！

小白馬跳起來，一面大聲嘶叫，一面用力踏腳。羊寶寶都醒了，嚇得擠在一起。

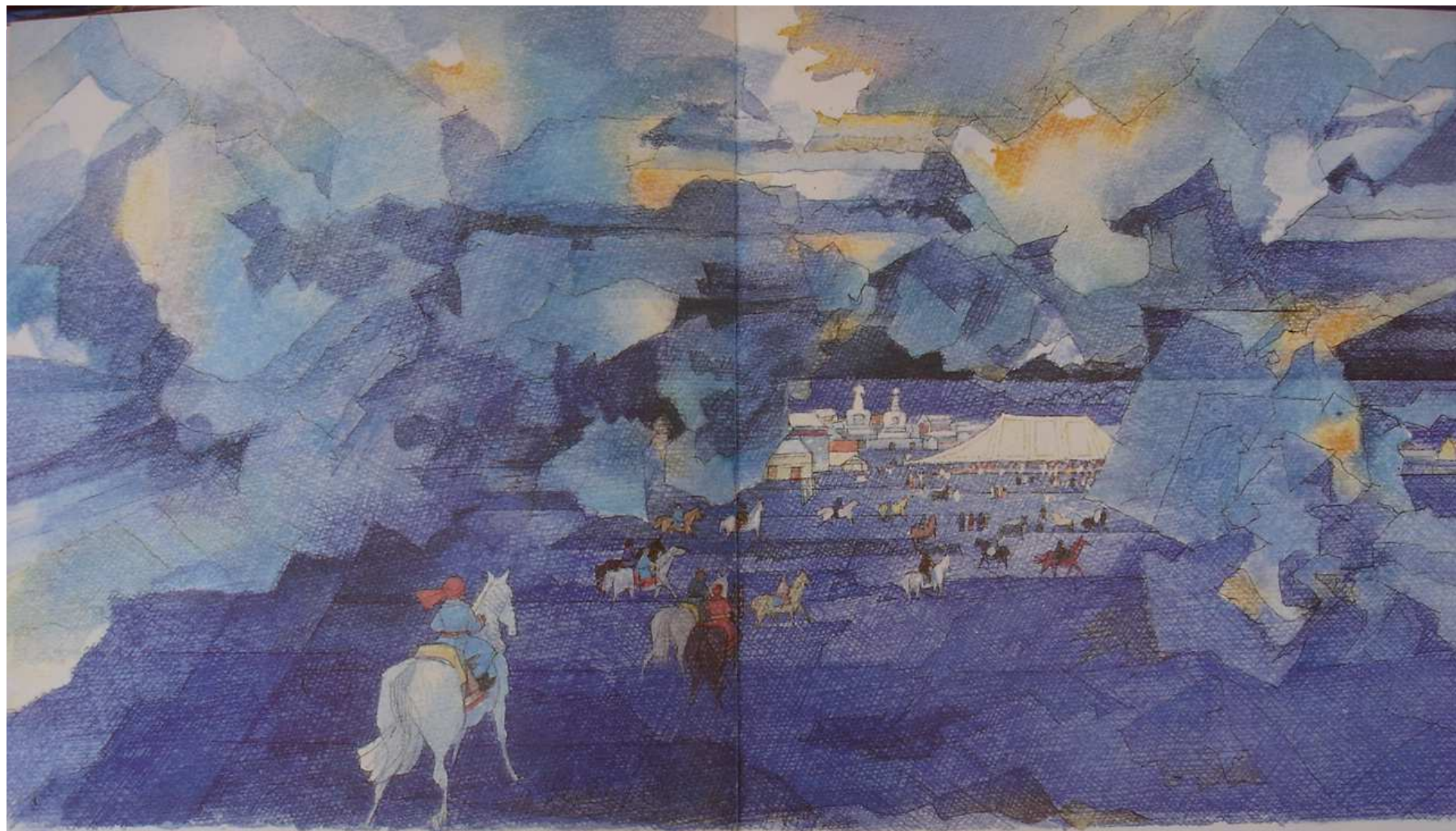
「噢——鳴——」大野狼低聲吼著，露出又尖又長的牙齒，眼睛閃出凶狠的綠光，一步步逼近。

小白馬一點也不怕，牠緊緊跟著大野狼轉，不讓牠靠近羊群。



聽到小白馬的叫聲，蘇和趕快拿起火把衝出來，終於把大野狼趕跑了。

「小白馬，你真勇敢。」蘇和抱住小白馬。哇，這麼冷的晚上，小白馬竟然熱騰騰的，一身都是汗。蘇和好心疼，不停的摸著牠的頭，說：「謝謝你，小白馬。」



一年一次的大節日到了。

走啊，大家都去熱鬧熱鬧吧。大帳篷已經搭好，各地的人都趕過來，穿著最漂亮的衣服，帶來好吃的食物。大家一起來唱歌、來跳舞，痛痛快快的一玩。

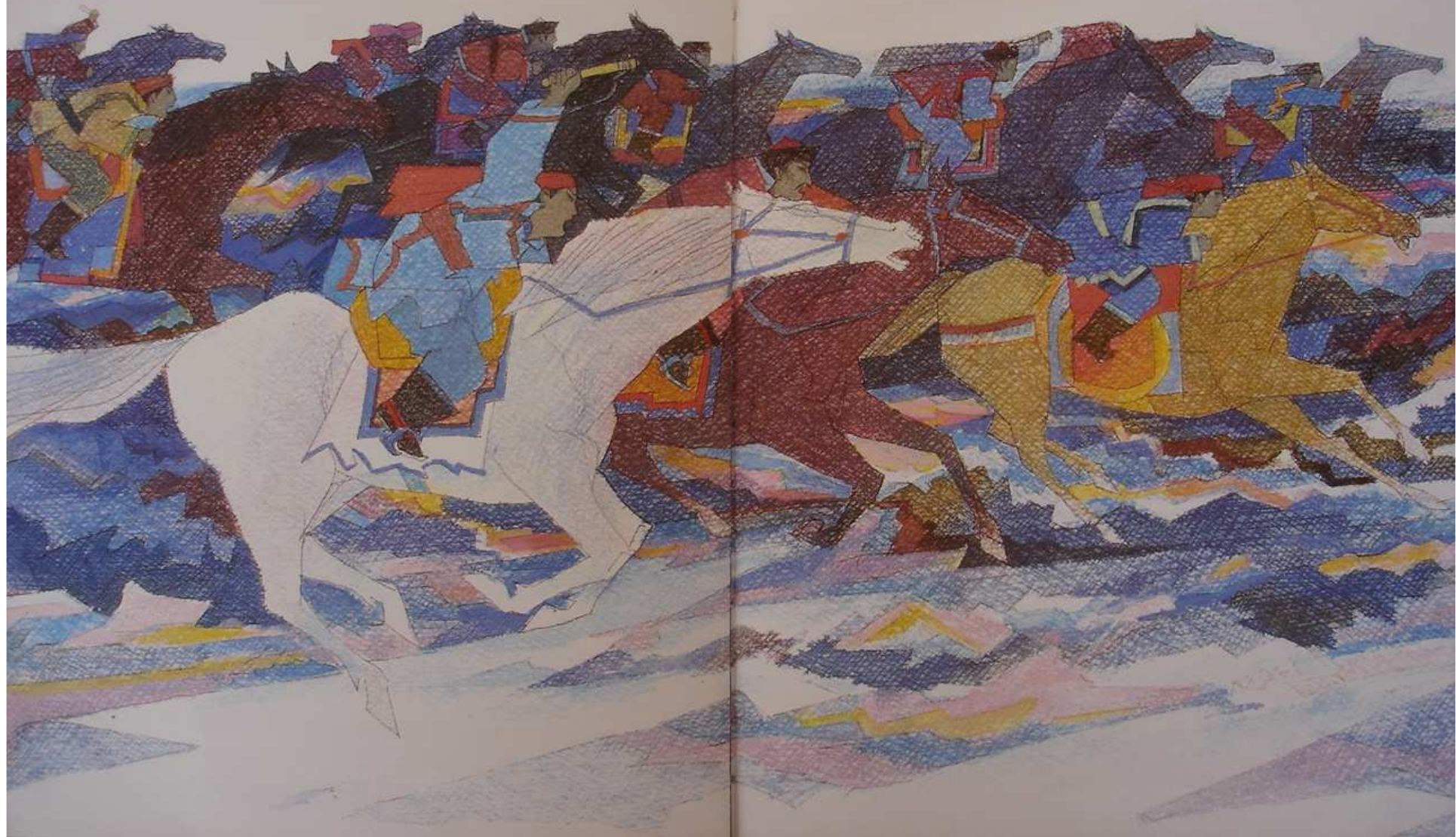
最精彩的，當然是看大力士比賽摔跤，看神箭手比賽射箭。

小孩子呢，來比比誰最會騎馬吧。看看誰是草原上最棒的騎士！

比賽了，王爺還會重重賞哩。

哇！騎馬大賽開始囉！
每個小孩都騎著自己最心愛的馬，拚命往前衝。
衝呀！看看誰騎得比風快！
咦？蘇和跟小白馬呢？

「加油呀，小白馬！」
蘇和在小白馬耳朵旁邊大聲喊。別的小騎士都揮動皮鞭打馬，要馬跑得更快。蘇和才不肯用鞭子呢，他只是不停的喊。



看哪！跑在最前面的，是誰啊？
像一道閃電，又像一顆流星，小白馬跑得快極了！
大家都還來不及眨眼，牠已經衝到了天邊，把其他的馬甩得老遠。所有的人都看呆了，還來不及喘口氣，牠又從天邊衝回來了。
小白馬跟蘇和贏得冠軍。



「好馬！真是好馬！」坐在大帳篷裡的王爺看得非常滿意，下令叫蘇和帶小白馬過來。

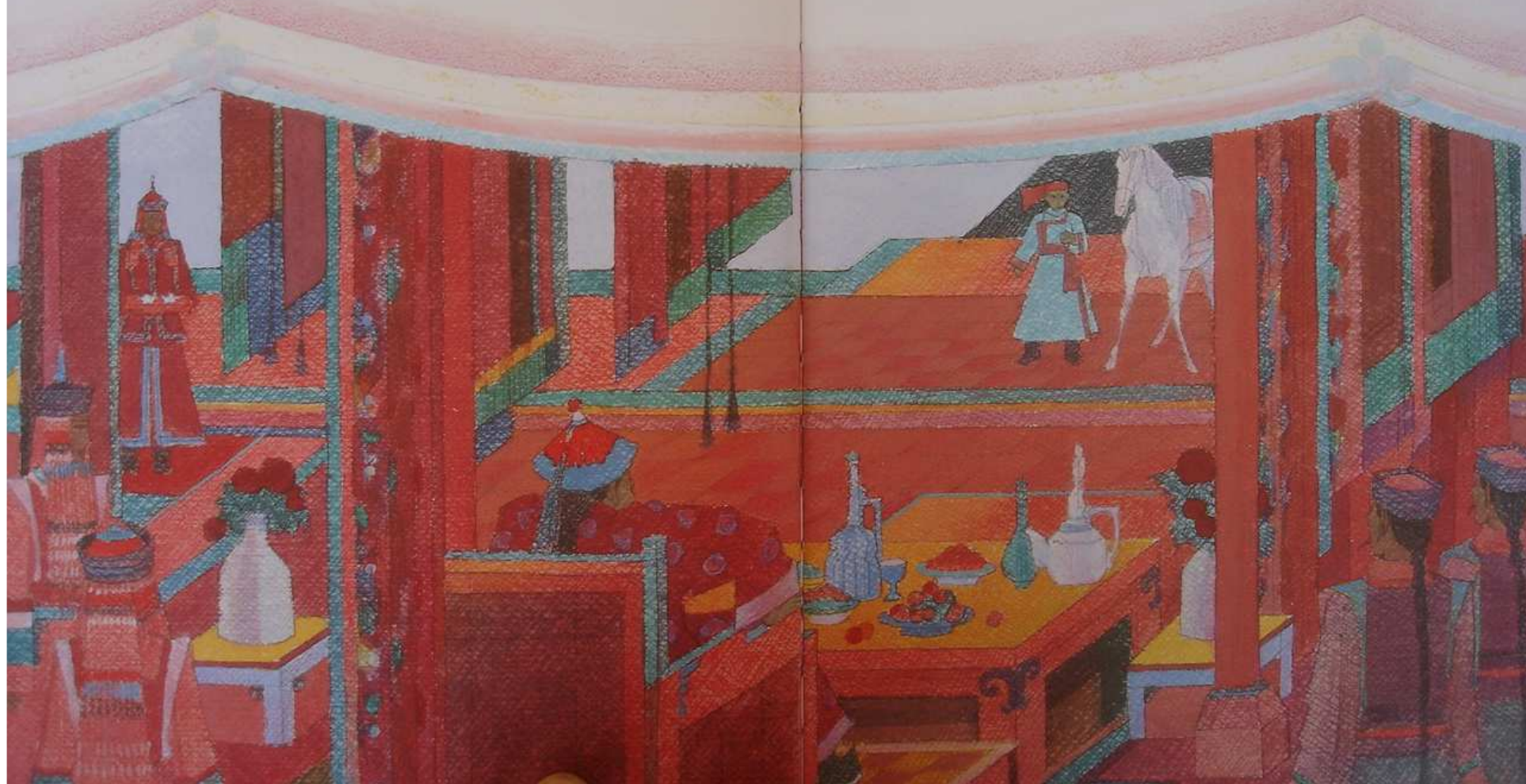
「小弟弟，你的馬很會跑，賣給我吧。」王爺叫人捧出一大堆錢。

「不賣不賣。」蘇和搖搖頭說：「我們是來賽馬的，不是來賣馬的。」

王爺不耐煩的說：「我看上的東西就一定要！快說，你要賣多少錢？」

蘇和緊緊抱住小白馬：「我跟小白馬是好朋友，我們不想分開。」

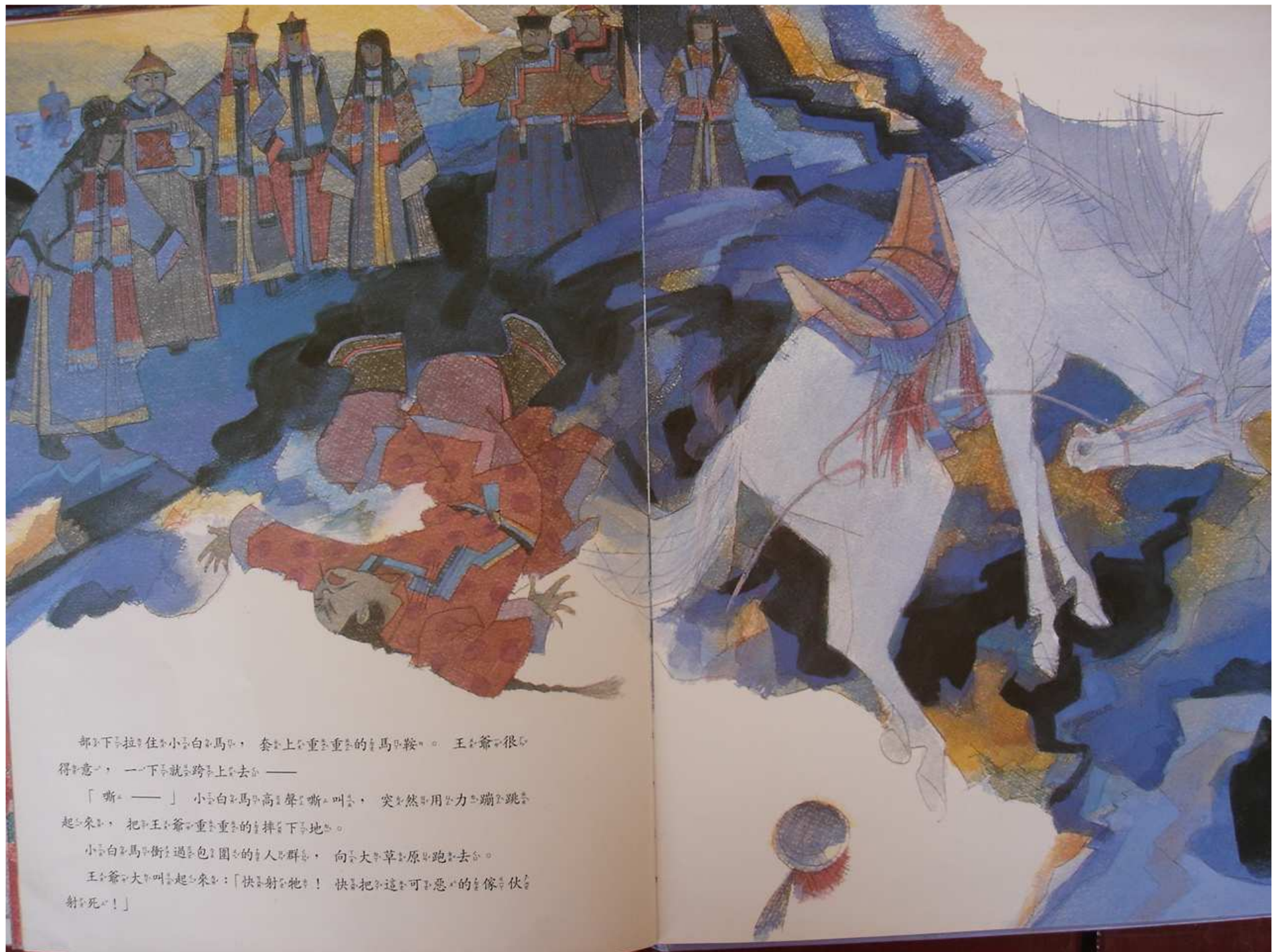
王爺生氣了：「你這個窮小子，敢反抗我？來人呀，把他趕出去！」



王爺的部下圍過來，用鞭子抽，用棍子打，把蘇文和狼狼打頓，趕走了。

「哈哈！」王爺大笑：「現在這匹好馬是我的了。大家都過來，看我來騎這匹冠軍馬，表演一下我的騎馬功夫。」





都₁下₂拉₃住₄小₅白₆馬₇，套₈上₉重₁₀重₁₁的₁₂馬₁₃鞍₁₄。王₁₅爺₁₆很₁₇得意₁₈，一₁₉下₂₀就₂₁跨₂₂上₂₃去₂₄——

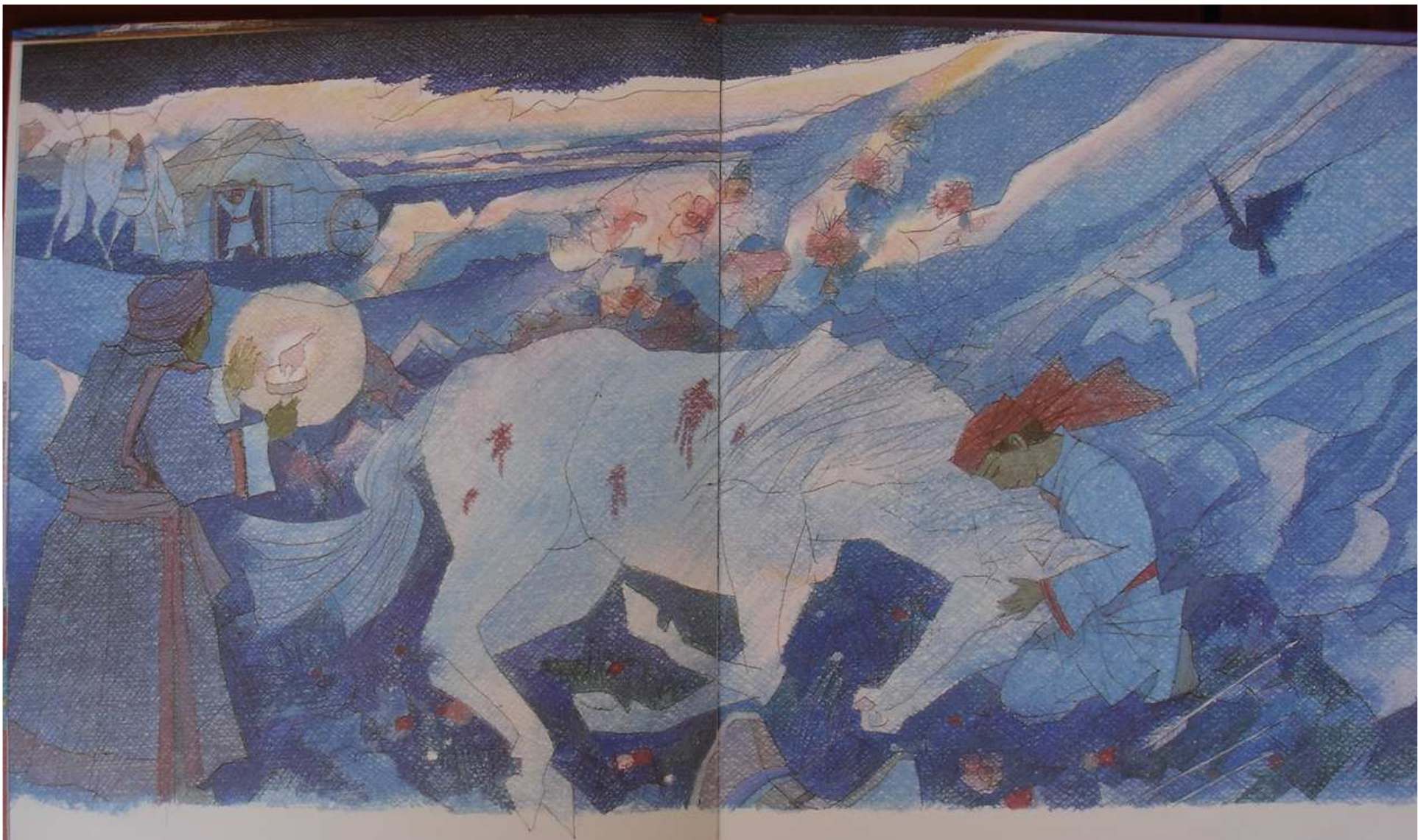
「嘶——」小₁白₂馬₃高₄聲₅嘶₆叫₇，突₈然₉用₁₀力₁₁蹶₁₂跳₁₃起₁₄來₁₅，把₁₆王₁₇爺₁₈重₁₉重₂₀的₂₁摔₂₂下₂₃地₂₄。

小₁白₂馬₃衝₄過₅包₆圍₇的₈人₉群₁₀，向₁₁大₁₂草₁₃原₁₄跑₁₅去₁₆。

王₁爺₂大₃叫₄起₅來₆：「快₇射₈牠₉！快₁₀把₁₁這₁₂可₁₃惡₁₄的₁₅傢₁₆伙₁₇射₁₈死₁₉！」

王爺的部下舉起弓箭，對準小白馬射去。
危險呀，小白馬，快跑！
小白馬急著要回蘇和家，跑得真快。可是，箭就像是一
陣大雨似的，「咻咻咻」，又多又快，全向小白馬射過
去——





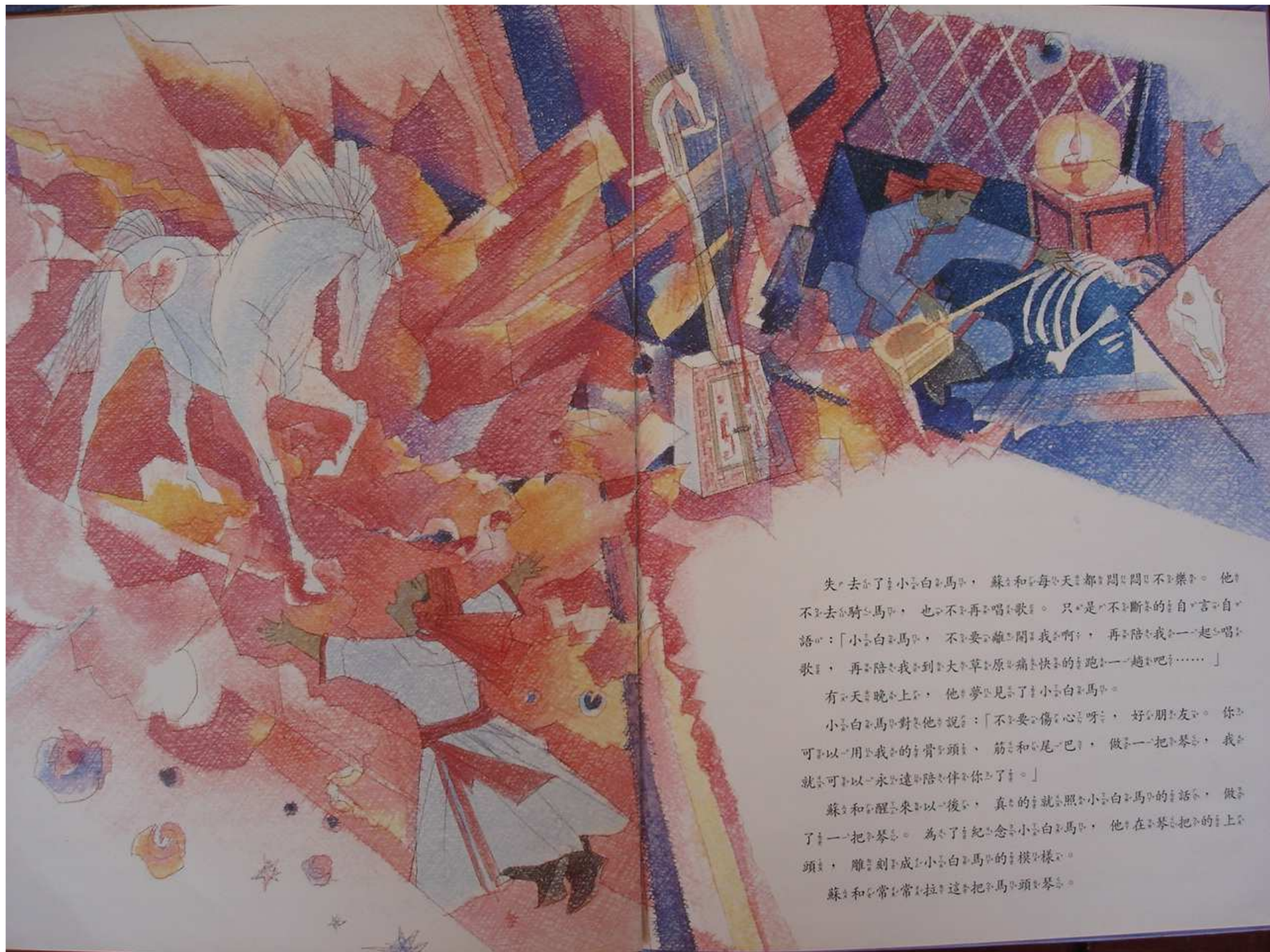
這天晚上，蘇和正在家裡傷心，忽然聽到馬嘶的聲音。他跳起來：「小白馬回來了！」蘇和衝出去，果然看到一個白影，從遠遠的地方一跛一跛的走過來。真的是小白馬。牠的身上中了許多支箭，痛得沒辦法跑，可是牠還是一步一步走回來。

蘇和哭著說：「可憐的小白馬，看那些壞人把你傷成這個樣子！」

他用力的拔起箭，血就像泉水一樣冒出來。

小白馬努力地睜大眼睛，看著蘇和，又軟弱的伸長脖子，把頭靠著他。

然後，小白馬腿一彎，倒下去，死了。



失去了小白馬，蘇和每天都悶悶不樂。他不去騎馬，也不再唱歌。只是不斷的自言自語：「小白馬，不要離開我啊，再陪我一起唱歌，再陪我到大草原痛快的跑一趟吧……」

有天晚上，他夢見了小白馬。

小白馬對他說：「不要傷心呀，好朋友。你可以用我的骨頭、筋和尾巴，做一把琴，我就永遠陪伴你了。」

蘇和醒來以後，真的就照小白馬的話，做了一把琴。為了紀念小白馬，他在琴把的頭上，雕刻成小白馬的模樣。

蘇和常常拉這把馬頭琴。



每到夕陽西下，他就去大草原，拉起馬頭琴。他一想起小白馬，琴聲就變得
很悲哀，像在哭。他又想起以前和小白
馬在一起奔跑、唱歌，琴聲就變得
很快，像是快樂的笑聲。

大家都喜歡圍在一起聽。寂寞的人，
傷心的人，被欺負過的人，全都靜靜的
聽，像是有人在做親切的安撫，感到
很溫暖。

你聽，馬頭琴又響起來了——

封底



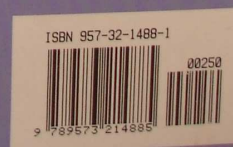
這是一個發生在蒙古大草原上的故事。一個叫蘇和放羊的孩子，在草原上撿到一匹瘦弱的小白馬，在蘇和細心照料下，小馬一天比一天健壯，能跑、能跳，會幫助看守羊群，是一匹很出色的馬。王爺看上了要買，蘇和不肯賣，他便把馬搶走。當王爺騎上小白馬，馬亂跳亂跳，把他摔了下來。馬在逃回蘇和家的途中，被亂箭射成重傷，到了家便死了。

書中的插圖很有動感，美麗夕陽和羊群，把我們帶入遼闊的大草原，是詩是畫。蘇和拉著用小白馬骨頭和尾巴做的馬頭琴，聽了悲哀的琴聲，像在訴說他們珍貴的友情，同時也在說明一個道理：人與人或人跟動物，友誼的建立要靠愛心，是沒法子用蠻橫的手段獲得的。

[中華民國兒童文學學會名譽理事長]

馬景賢


遠流出版公司
ISBN 957-32-1488-1
Q7012 NT\$250



封面(↓ 後封面(封底). ↓ 書背 ↓ 前封面)



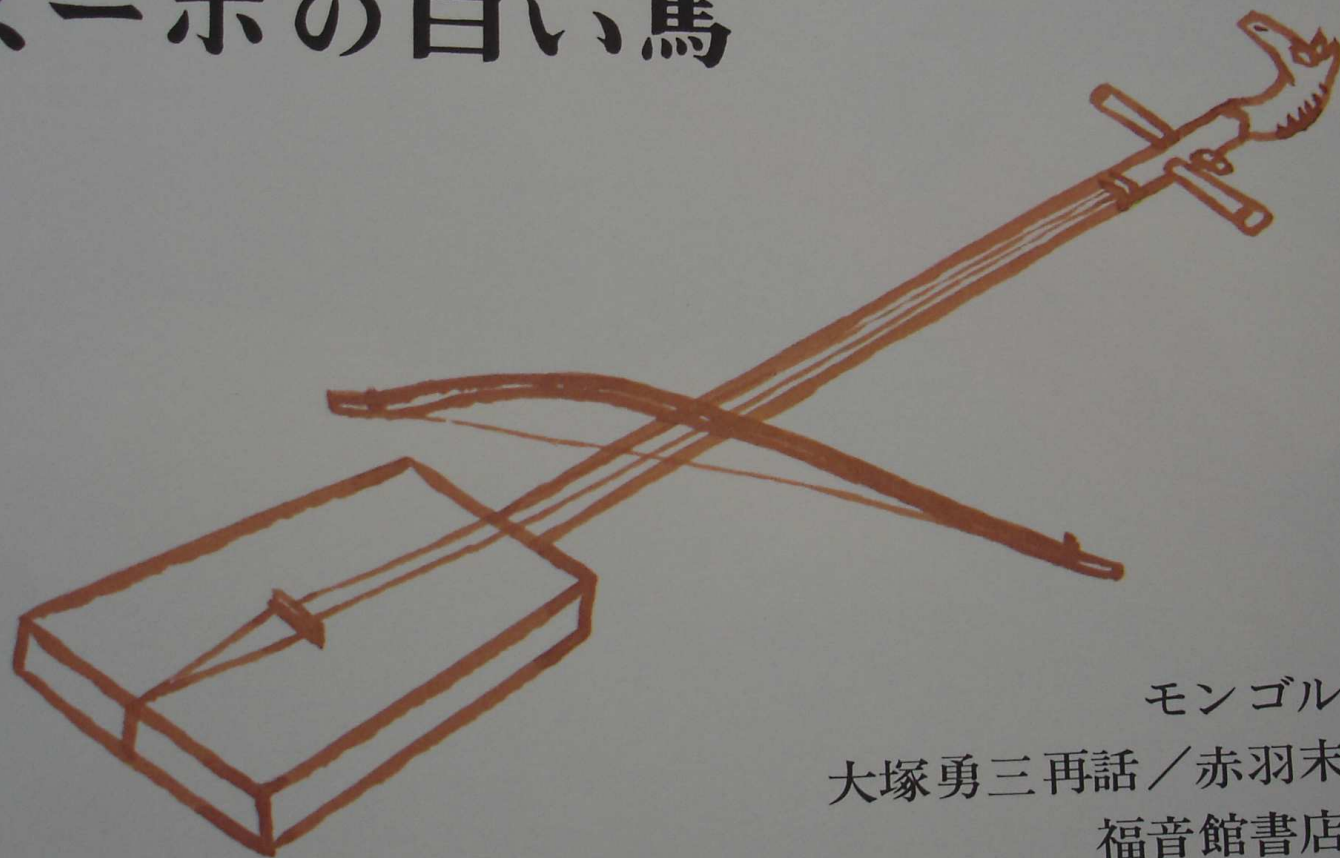
閱讀故事後

- 請說一說在你腦海裡呈現的畫面和繪本圖畫書裡的圖畫不一樣？

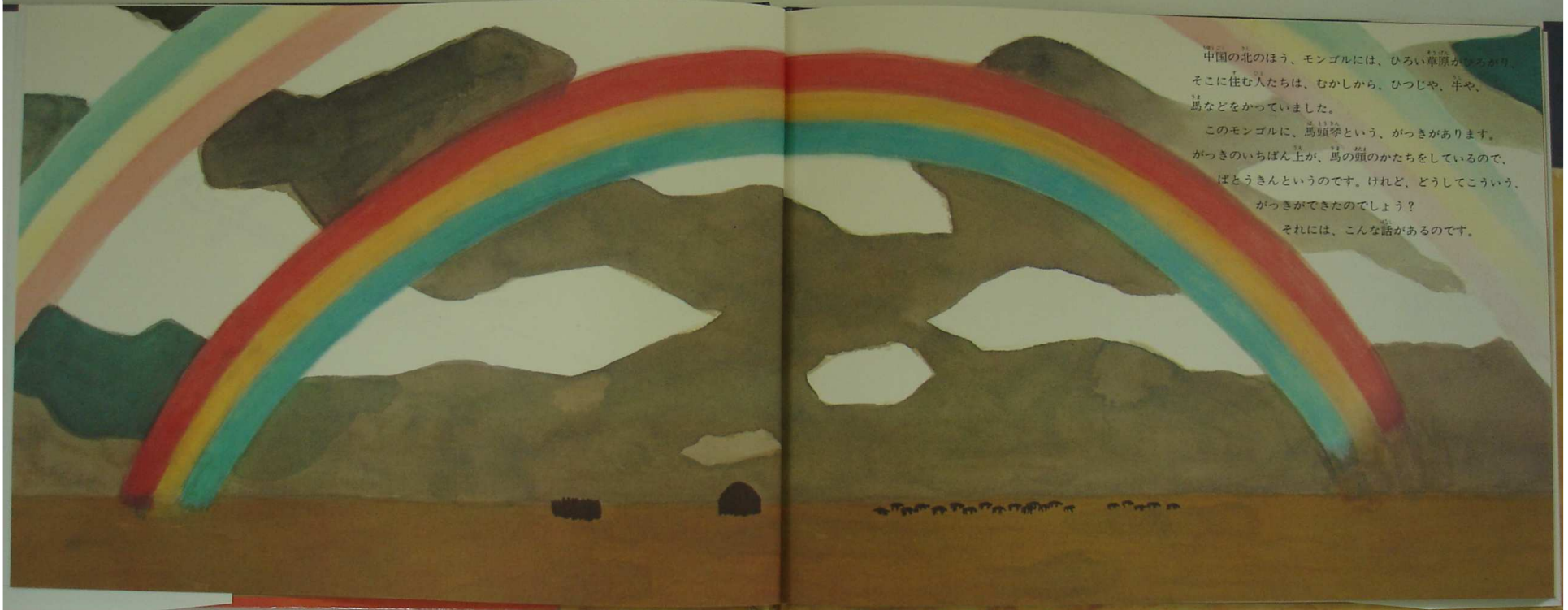
《馬頭琴》 大塚勇三／文 赤羽末吉／圖
嶺月／譯



スーホの白い馬



モンゴル民話
大塚勇三再話 / 赤羽末吉画
福音館書店発行



中国の北のほう、モンゴルには、ひろい草原が広がります。
そこに住む人たちは、むかしから、ひつじや、牛や、
馬などをかっていた。
このモンゴルに、馬頭琴という、がっきがあります。
がっきのいちばん上が、馬の頭のかたちをしているので、
ばとうきんというのです。けれど、どうしてこいう、
がっきができたのでしょうか？
それには、こんな話があるのです。

Handwritten notes in Japanese on the bottom page, including the characters '馬頭琴' (Bato Kin).



むかし、モンゴルの草原に、スーホという、ますしいつじかいの少年がいました。
スーホは、ととったおばさんと、ふたりきりでくらしていました。スーホは、おとなにまけないくらい、
よくはたらきました。まい朝、早く起きると、スーホは、おばさんを助けて、ごはんのしたくをします。
それから、二十頭あまりのひつじをおって、ひろいひろい草原に出ていきました。
スーホは、とても歌がうまく、ほかのひつじかいたちにたのまれて、よく、歌をうたいました。
スーホのうつくしい声は、草原をこえ、遠くまでひびいていくのでした。





ある日のことでした。日は、もう遠い山のむこうにしずみ、あたりは、ぐんぐん暗くなってくるのに、スーホが帰ってきません。
おばあさんは、心配でたまらなくなりました。近くに住むひつじかいたちも、どうしたのだろうか、と、さわざはじめました。
みんなが、心配でたまらなくなったころ、スーホが、なにか白いものをだきかかえて、走ってきました。



みんなが、そばにかけよってみると、それは生まれたばかりの、小さな白い馬でした。
スーホは、うれしそうにわらいながら、みんなにわけを話しました。
「帰るとちゅうで、子馬をみつけたんだ。これが、地面にたおれてもがいていたんだよ。あたりを見ても、持ち主らしい人もいないし、おかあさん馬も見えない。ほうっておいたら夜になって、おおかみにくわれてしまうかもしれない。それで、つれてきたんだよ」



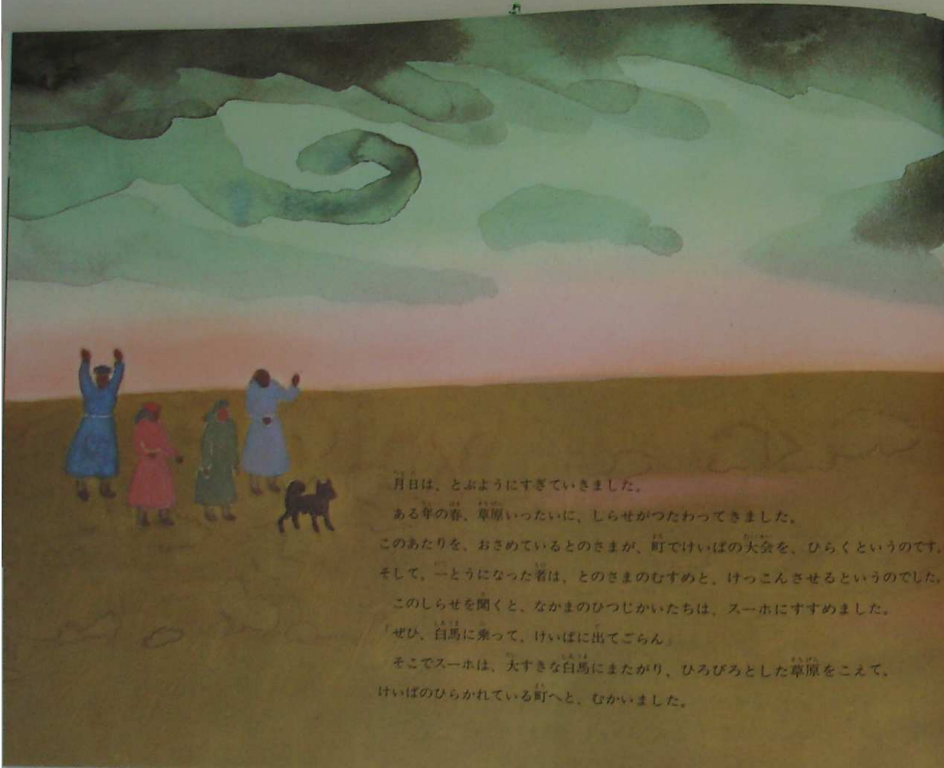
日は、一日、一日と、過ぎていきました。
スーホが、心をこめて世話したおかげで、子馬は、
りっぱにそだちました。からだは、雪のように白く、
きりっとひきしまつて、だれでも、おもわず
みとれるほどでした。スーホは、この馬が、
かわいくてたまりませんでした。



あるばんのこと、ねむっていたスーホは、はっとめをさしました。けたたましい馬のなき声と、
ひつじのざわぎが聞こえます。スーホは、はねおきると外にとび出し、ひつじのかいこのそばにかけつけました。
みると、大きなおおかみが、ひつじにとびかかろうとしています。そして、小さな白馬が、
おおかみの前にたちふさがって、ひっしにふせていました。

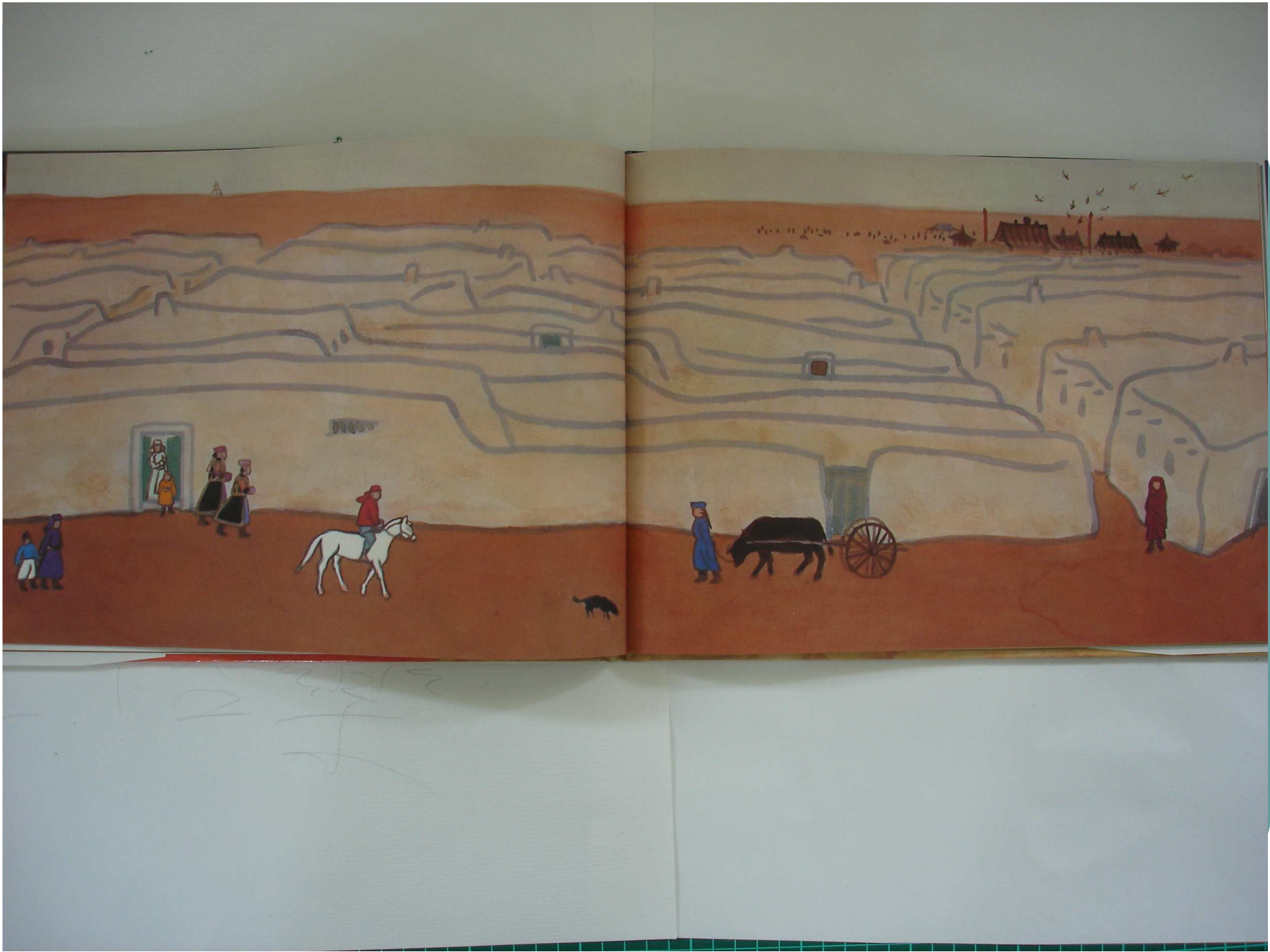


スーホは、おおかみをおいはらって、白馬のそばにかけよりました。白馬は、からだじゅう、あせで
びっしょりぬれていました。ずいぶん長い間、ひとりで、おおかみとたたかっていたのでしょう。
スーホは、あせだらけになった白馬のからだをなでながら、きょうだいのように話しかけました。
「よくやってくれたね、白馬。ほんとうにありがとう」



月日は、とふようにすぎにきました。
ある年の春、草原いっさいに、しらせがたわってきました。
このあたりを、おさめているとのさまが、町でけいばの大会を、ひらくというのです。
そして、一とうになった者は、とのさまのむすめと、けっこんさせるというのです。
このしらせを聞くと、なかまのひつじかいたちは、スーホにすすめました。
「ぜひ、白馬に乗って、けいばに出てごらん」
そこでスーホは、大きな白馬にまたがり、ひろびろとした草原をこえて、
けいばのひらかれている町へと、むかいました。





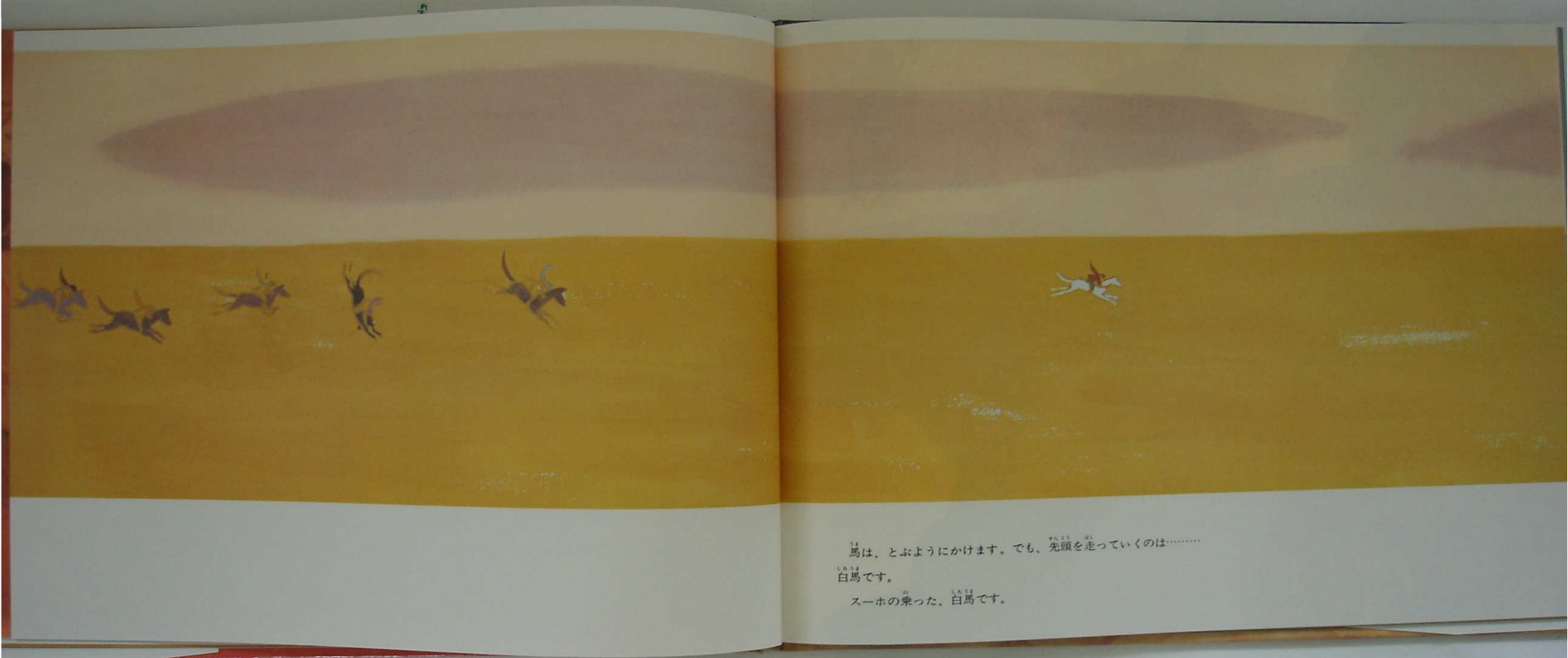


けいばの場所には、見物の人たちが
おおせい集まっていました。
台の上には、とのさまが、どっかりと
こしをおろしていました。



- .18~19

……比賽開始了。來自各地，年輕力壯的騎士們，一起揮起皮鞭，衝了出去。馬兒飛快的奔馳，不過，跑在最前面的——是一匹白馬。就是蘇活騎的白馬！



馬は、とぶようにかけます。でも、先頭を走っていくのは……
白馬です。
スーホの乗った、白馬です。



「白い馬が」どうぞ。白い馬の乗り手をつけてまいれ！」

とのさまは、さげびました。

ところが、つれてきたわかものを見ると、
びんぼうな、ひつじかいではありませんか。そこで、
とのさまは、むすめのむこにする、やくそくなどは、
しらんぷりしていいました。

「おまえには、ぎんかを^③まいくれてやる。
その白い馬をここにおいて、さっさと帰れ！」

スーホは、かっとなつて、むちゆうでいいかえしました。

「わたしは、けいばにきたのです。

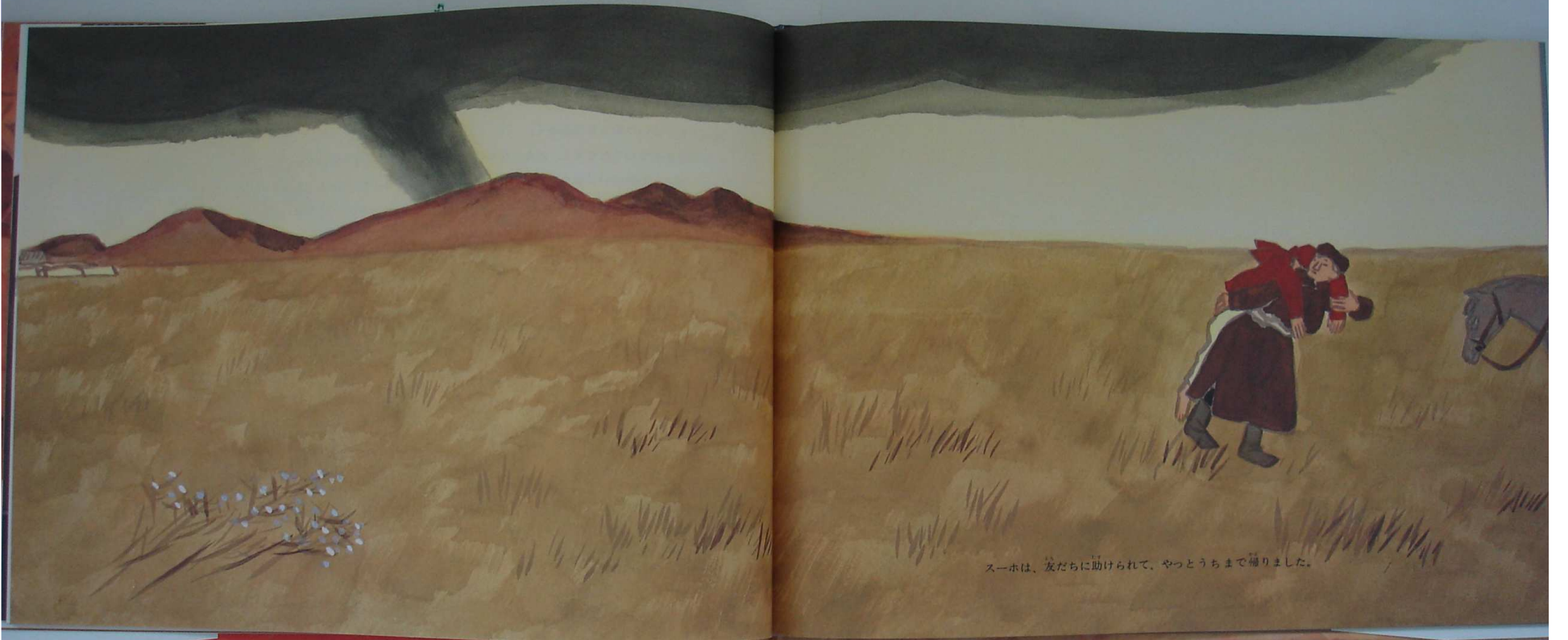
馬を、売りにきたものではありません」



「なんだ！ いやしいひつじかいのくせに、このおしにさからうのか。
ものども、こいつをうちのめせ！」

とのさまがどなりたてると、けらいたちがいつせいに、スーホにとびかかりました。
スーホは、おおぜいになぐられ、けとばされて、気をうしなっていました。
とのさまは、白馬をとりあげると、けらいたちをひきつれ、おおいばりで帰っていきました。





スーホは、友だちに助けられて、やっとうちまで帰りました。



スーホのからだは、きずや、あざだらけでした。
おばあさんが、つきっきりでてあてをしてくれました。
おかげで、なん日かたつと、きずもやっとなおってきました。
それでも、白馬をとられたかなしみは、どうしても、
きえませんでした。白馬はどうしているだろうと、スーホは
そればかり考えていました。白馬は、どうなったのでしょうか。

すばらしい馬をてにいれたとのさまは、まったくいいきもちでした。
こうなると、馬をみんなに、みせびらかしたくてたまりません。
そこである日のこと、とのさまは、おきゃくをたくさんよんで、
さかもりをひらきました。



さて、そのさかもりのさいちゆう、とのさまは、
いよいよ白馬に乗って、みんなに見せてやることにしました。
けらいたちが、白馬をひいてきました。





- .30~31

王爺一跨上白馬，白馬的前腿突然騰空躍起，把王爺摔在地上。白馬掙脫了王爺手上的韁繩後，衝出驚慌失措的人群，像一陣風的跑走了……。



とのさまは、起きあがろうともがきながら、大声でどなりちらしました。
「早く、あいつをつかまえろ！ つかまらないなら、ゆみでいころしてしまえ！」
けらいたちは、ゆみをひきしほり、いっせいに、やをはなしました。
やは、うなりをたててとびました。白馬のせには、つぎつぎに、やがさりました。
それでも白馬は、走りつづけました。



そのばんのことで。スーホがねようとしていたとき、ふいに外のほうで音がしました。
「だれだ?」と、聞いてもへんじはなく、かたかた、かたかたと、ものおとがつづいています。
ようすを見に出ていったおばあさんが、さけび声をあげました。
「白馬だよ! うちの白馬だよ!」



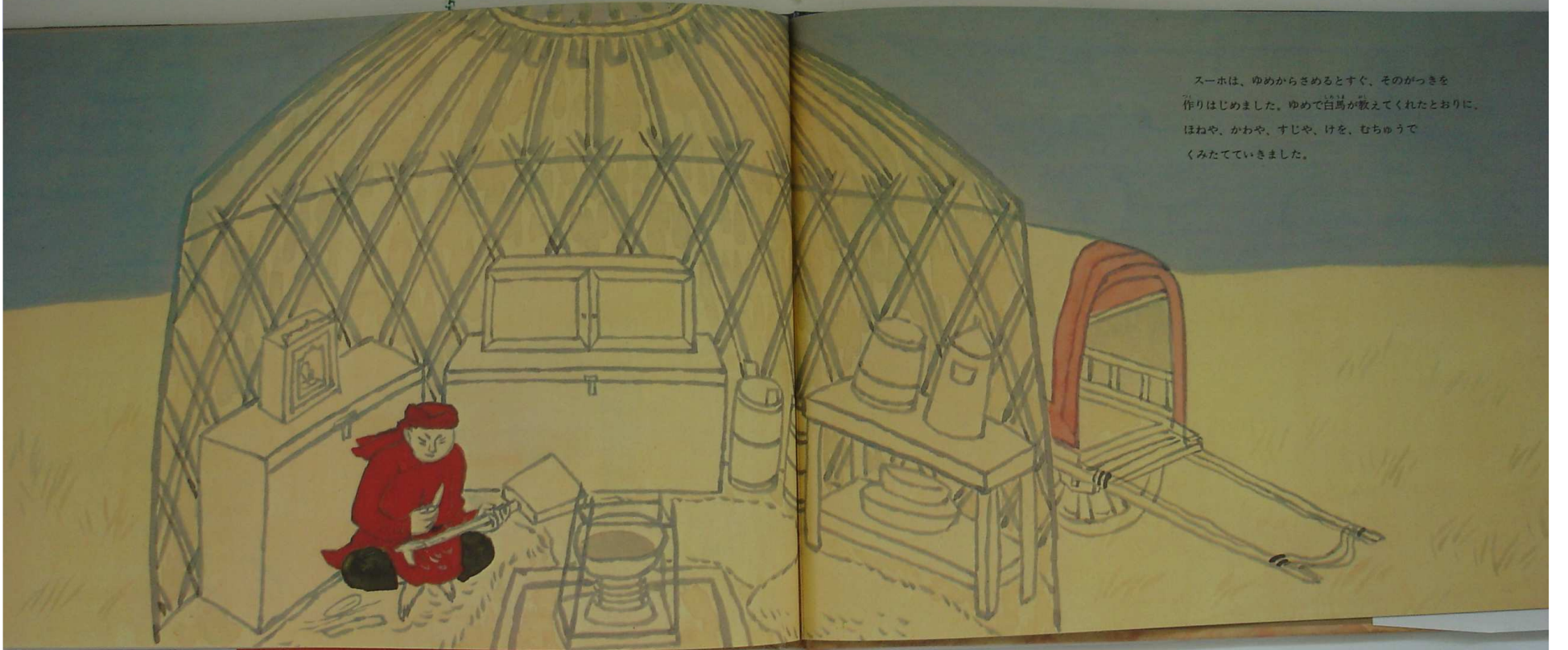
スーホは、はねおきてかけていきました。みると、ほんとうに、白馬はそこにいました。
けれど、そのからだには、やが何本もつきささり、あせがたきのように流れおちています。
わかい白馬は、ひどいきずをうけながら、走って、走って、走りつづけて、
大すきなスーホのところへ、帰ってきたのです。

スーホは、はをくいしばって、つらいのをこらえながら、
馬にささっているやを、ぬきました。きずぐちからは、
ちがふき出しました。
「白馬、はくの白馬。死なないでくれ！」
でも白馬は、よわりはてていました。いきは、だんだん
ほそくなり、目の光りもきえていきました。
つぎの日、白馬は死んでしまいました。

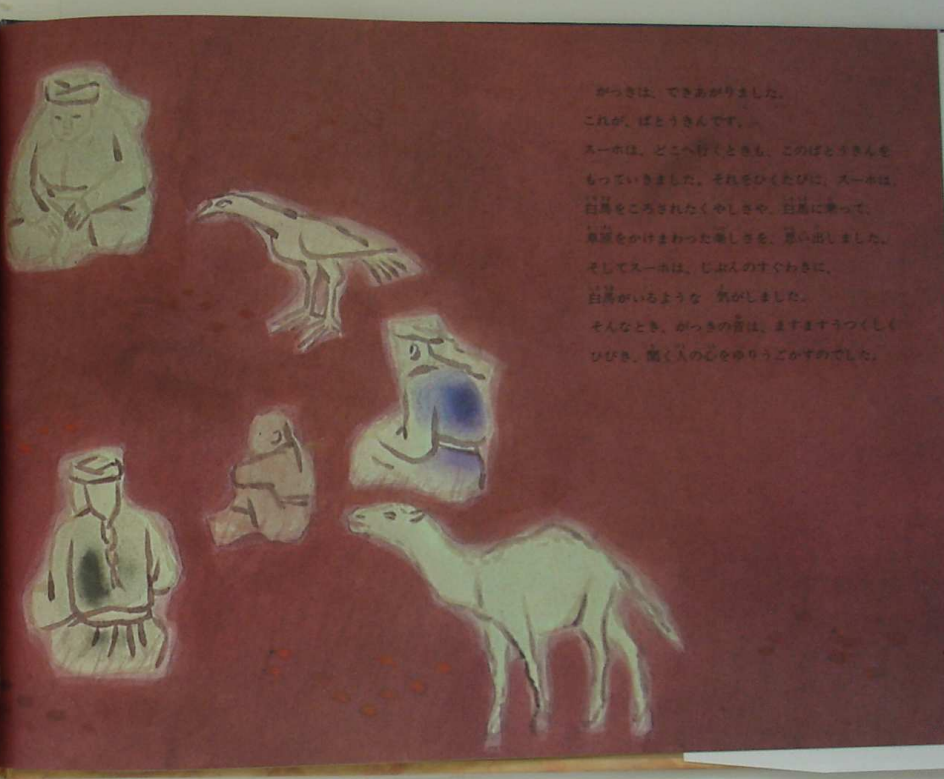




かなしごとくやささで、スーホはいくばんも、ねむれませんでした。
でも、やっとあるばん、とろとろとねむりこんだとき、スーホは白馬の
ゆめを見ました。スーホが、なでてやると、白馬はからだをすりよせました。
そして、やさしくスーホに、話しかけました。
「そんなに、かなしまないでください。それより、わたしのほねや、かわや、すじや
けを使って、がつきを作ってください。そうすれば、わたしはいつまでも、
あなたのそばにいられます。あなたを、なぐさめてあげられます」



スーホは、ゆめからさめるとすぐ、そのがつきを
作りはじめました。ゆめで白馬が教えてくれたとおりに、
ほねや、かわや、すじや、けを、むちゆうで
くみだてていきました。



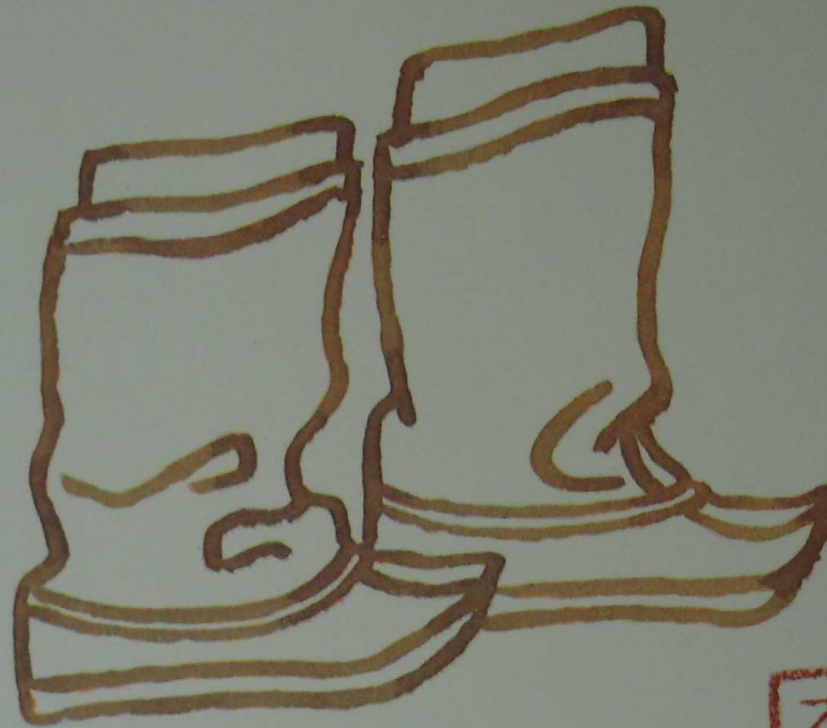
がっさは、できあがりでした。
 これが、ぼとうきんです。
 スーホは、どこへ行くときも、このぼとうきんを
 もっていました。それでひとびとに、スーホは、
 白馬をこぼされたくやしさを、白馬に乗って、
 草原を駆けまわった楽しさを、言いつけました。
 そしてスーホは、じぶんのすくわに、
 白馬がいるような 男がいました。
 そんなとき、がっさの首は、ますますうつくしく
 伸びた。驚く入の心をのりうごかすのです。

2 12 3219
 7



やがて、スーホの作りだしたばとうさんは、
ひろいモンゴルの草原じゆうに、ひろまりました。
そして、ひつじかいたちは、ゆうかたになると、
より集まって、そのうつくしい音に、耳をすまし、
一日のつかれをわすれるのでした。

2-12 4019
F



スーホの白い馬 大塚勇三 再話 赤羽末吉 画

NDC 923 48p 24×32cm

1967年10月1日 発行 2005年5月10日 第107刷

発行所 株式会社 福音館書店 〒113-8686 東京都文京区本駒込 6-6-3

電話 販売部 (03)3942-1226/編集部 (03)3942-9265

<http://www.fukuinkan.co.jp/>

印刷 日本写真印刷 製本 大村製本

ISBN-4-8340-0112-1

SUHO AND THE WHITE HORSE - A Mongolian Folk Tale

Text © Yuzo Otsuka 1967. Illustrations © Suekichi Akaba 1967.

Published by Fukuinkan Shoten, Publishers, Inc., Tokyo, 1967.

Printed in Japan

●乱丁・落丁本は、小社制作課宛ご送付ください。送料小社負担にてお取り替えいたします。

- 比較一下，這兩本繪本圖畫書的色調. 圖案. 風格一不一樣？

- **繪本**裡的圖畫是畫家的創意
- 只有繪本閱讀不能滿足我們對於**文學作品**。
知識的渴望
- **文字**閱讀想像空間無限
- 文字裡有引人的故事情節以及豐富的文字
意象

繪本如何進入文本閱讀

- 選擇文字較多、內容較深的繪本來閱讀。
- 可以精簡的文字撰寫趣味性較高的故事來閱讀慢慢的回到文字世界。



● 馬頭琴音樂欣賞

靜思語-禮節

- 心中常存-
- 知足. 善解. 感恩. 包容.



- 問題討論

- 1. 蒙古大草原的風光如何？
你知道它在我國的哪一方？你
能在世界地圖上找出蒙古的位
置嗎？

- 2、為什麼蘇和把野地上的小白馬帶回家？

- 3、蒙古一年一度的大節日，有哪些表演、比賽和動？

● 4、蘇和是一個怎樣的人？

- 5、蘇和和小白馬的的感情怎麼建立起來？
- 從故事中哪一個情節知道他們是一對真正要好的朋友。

- 6、王爺是一個什麼樣的人？他怎麼搶奪小白馬？

- 7、小白馬死了，蘇和很難過，他想念小白馬嗎？請問他想念什麼？

- 8、蘇和做了一把馬頭琴，說一說這把馬頭琴如何做出來的？

- 9、小朋友，你有沒有思念的人或動物？如果你想念他（牠），你會想些什麼？（他的面貌、他的好、和你一同度過快樂時光、想他現在在做什麼？）

10、語助詞、驚歎號的認識與運用

- 語助詞(T): 是一種後置成份，必須附在句子或詞組之後，藉以修飾句子或詞組，為表示說話者的語氣

語助詞分類：(以出現先後次序分)

1. Ta: 了 的
2. Tb: 沒 而已 罷了 也好
3. Tc: 啊 哇 呢 耶 喔
4. Td: 了嗎 而已嗎 與否 哉

- 參考資料

<http://linganchor.sinica.edu.tw/data/file/LC030909LC04.ppt>

- 驚嘆號:用在感嘆.命令.祈求.勸勉等句之後。
- 找出有〈語助詞、驚嘆號〉的句子，並練習朗讀。

<語助詞. 驚嘆號>的句子

- 咦？
- 小心，黑影出現了！
- 哎呀，是可怕的大野狼來了！
- 看看誰是草原上最棒的小騎士！
- 哇！騎馬大賽開始啦！
- 衝呀！看看誰騎得比風快！
- 加油呀，小白馬！
- 蘇和才不肯用鞭子呢！
- 看哪！跑在最前面的，是誰啊？像一道閃電，又像一顆流星，小白馬跑得快極了！

<語助詞. 驚嘆號>的句子

- 好馬！真是一匹好馬！
- 我看上的東西就一定要！快說，你要賣多少錢？
- 你這個窮小子，敢反抗我？來人呀，把他趕出去！
- 哈哈！
- 快射牠！快把這可惡的傢伙射死！
- 危險啊，小白馬，快跑！
- 小白馬回來了！
- 可憐的小白馬，看那些壞人把你傷成這個樣子！

10、本書的心得感想？ 個人感言發表會

- 具體的方向參考：
- 1、讀完此書後，知道一些以前不知道的**新知**。
- 2、此書中，讓我**最佩服的人**，我要頒一個什麼獎給他。
- 3、此書中，最讓我**咬牙切齒**的人。
- 4、全書出現的人物中，**誰和我最像**。
- 5、此書中，最讓我**感動**的一幕。
- 6、此書中，最讓我**快樂**的一幕。
- 5、此書中，最讓我**悲傷**的一幕。
- 8、此書中，最適合**編成戲劇來演**的一幕。
- 9、全書書最**不容易懂得部分**。
- 10、我想**問作者一個問題**。

- 想想看，蘇和這孩子多委屈，然而在封建社會裡，當權者的霸道不講理，欺壓老百姓，以及窮人受歧視，都是生活中的無奈。當時的人除了面對它，以及努力想法子調適自己之外，還能怎樣。古時候的蘇和如此，現代兒童也不能不如此。

- 這是一則非常淒美的故事，感情豐富的讀者讀了恐怕會哭。就哭吧，難得有這麼好的文學作品，能讓人靈受到感動，這樣會幫助人變得成熟，變得更懂事，更了解什麼叫委屈、無奈，以及如何面對不如意和如何調適自己的傷心。

- 任何時代、任何方式的生活，都有快樂也有憂愁苦惱。古時候的人最大的悲哀就是貧窮和階級懸殊。

- 現代兒童的委屈，最常見的是學業成績欠佳，考不上好學校，不然就是父母失和，缺乏家庭溫暖等等。有些因素不是靠努力就可以改善的，這是生活中的無奈，除了面對它和想法子調適自己之外，還能怎樣呢。

- 最重要的是，調適了以後，要重新振作再出發。像蘇和一一樣，變成拉琴好手，不是很快樂嗎？

《馬頭琴》的記憶地圖

- 書中曾出現的**人名**
- 書中曾出現的**地名**
- 書中曾出現的**物品**
- 書中曾出現的**事件**
- 書中曾出現的**其他重點**
- 我對本書的**第一印象**
- 我閱讀本書的一些**聯想**
- 我對本書的**最直接感受**

說明：

- 1、請寫下記得的部分，將這些記憶稍做分類。
- 2、只要跟本書有關的，就全部寫下來，想到什麼就寫什麼。
- 3、寫完後，再一一檢視，把覺得不值得留做『心得』的部分刪除。
- 4、再度檢視表格中的記憶，把認為比較重要的部分圈起來。
- 5、試著將他們組織起來，以箭頭代表其關係。
例如：因為發生了『甲』，導致結果「乙」，畫成 甲—乙
- 6、再次檢視組織圖，並將他們分類，分段寫出大意、心得。

《馬頭琴》的心得三段論法

- 這是一本()的書。

第一段：

- . 故事開始是說.....

第二段：

- . 主要的角色有...，發生此事的原因
- . 事件的結果是.....
- . 我對這個結果滿意嗎？為什麼？

第三段：

- . 如果我可以改變，我想對書中做的改變是：